

## < 参考 > 基礎利益の内訳(三利源)

逆ざや額(順ざや額): 想定した運用収益(予定利率)と実際の運用収益との差から生じるもの

危険差益: 想定した保険金・給付金の支払額(予定危険発生率)と実際に発生した支払額との差から生じるもの

費差益: 想定した事業費(予定事業費率)と実際の事業費支出との差から生じるもの

(単位: 百万円)

| 区 分                      | 平成19年度  | 平成20年度  | 増減      |
|--------------------------|---------|---------|---------|
| 基礎利益                     | 454,983 | 360,829 | 94,154  |
| 逆ざや額(正值の場合は順ざや額)         | 1,131   | 64,862  | 65,994  |
| 危険差益                     | 387,323 | 382,219 | 5,104   |
| 費差益                      | 66,527  | 43,472  | 23,055  |
| キャピタル損益                  | 82,277  | 619,690 | 537,412 |
| 臨時損益                     | 172,124 | 368,007 | 540,131 |
| うち 危険準備金繰入額(正值の場合は取崩額)   | 29,000  | 478,018 | 507,018 |
| 経常利益 (= + + )            | 200,581 | 109,146 | 91,435  |
| 特別損益                     | 28,786  | 110,584 | 139,370 |
| うち 価格変動準備金繰入額(正值の場合は取崩額) | 14,000  | 120,000 | 134,000 |
| 法人税等その他                  | 28,477  | 85,964  | 57,487  |
| 当期末処分剰余金 (= + + )        | 143,318 | 133,766 | 9,551   |

生命保険会社の剰余は**当期末処分剰余金**( )です。

**基礎利益**( )やその内訳の**三利源は、当期末処分剰余金を構成する一部**であり、基礎利益から当期末処分剰余金までの全体の状況をご覧いただく必要があります。

ご契約者への配当は、当期末処分剰余金からお支払いすることとなります。

平成20年度の**当期末処分剰余金1,337億円**は、総代会の決議を経て、**社員配当準備金に649億円**繰り入れられます。

将来にわたり健全性を確保するため、保険業法等に基づき**危険準備金**や**価格変動準備金**を積み立てております。平成20年度決算においては、資産運用環境の悪化に伴い発生したキャピタル損失に対応して、これらの準備金を取り崩しております。その積立に必要な金額や取り崩した金額は、**臨時損益**( )や**特別損益**( )として計上しております。